



キク編



病害虫注意報
2017年7月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

立枯病 予防と対策

高温に伴う、立枯れ症状の発生が増加します。
①適正な水管理、②遮光剤などによる高温対策、
③活着を向上する資材や④予防薬剤を使用しましょう。
また、萎れ症状など根傷みの兆候がある場合、早急に酸素剤
などを使用し根の回復に努めましょう。

効果のある病原菌名	有効薬剤	希釈倍率・使用量	登録内容	処理方法
リゾクニア菌	リゾレックス水和剤	500~1,000倍 3L/㎡	白絹病	株元灌注(-/5回)
	リゾレックス粉剤	50kg/10a	立枯病	土壌混和(定植前/1回)
リゾクニア菌 ピシウム菌など	ユニフォーム粒剤 (リドミルの成分+ アミスターの成分)	18kg/10a	立枯病 (リゾクニア菌)	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
—	タチガレン液剤	1,000倍 5~10L/㎡	発根促進	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

おすすめ!

チョウ目・ダニ対策

※地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますので、ご注意ください。さらに、展着剤、葉面散布剤などを加用する場合も、ご注意ください。

オオタバコガ、ハスモンヨトウ等の
チョウ目害虫やダニの発生が増加しま
す。食害は切り花品質や出荷率の低下
につながりますので注意しましょう。

	特徴	最多発生時期
オオ タバコガ	体に毛が生えており、新芽・花蕾を好んで 食べる。	8月~10月
ハスモン ヨトウ	頭の横に黒い紋がある。卵塊で産卵。若齢 は葉を薄皮1枚残して食べる。	8月~10月

**生育
初期**

ハダニ類	ペンタック水和剤	1,000倍 -/-
白さび病	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍 発病初期/3回

破蕾期

オオタバコガ ハスモンヨトウ マメハモグリバエ	アニキ乳剤	1,000~2,000倍 発 生初期/6回(マメハモグ リバエ1000倍)
ハダニ類	スターマイト フロアブル	2,000倍 発生初期/1回
白さび病、黒斑病 灰色かび病、ハダニ 類、うどんこ病	ポリオキシ ンAL水溶剤	2,500倍 発病・発生初期/8回

消灯時

オオタバコガ ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	1,000倍 発生初期/2回
ミカンキロア ザミウム、マメ ハモグリバエ、 ハスモンヨトウ	マッチ乳剤	1,000倍 発生初期/5回 (ハスモンヨトウ は2,000倍)
白さび病	トリフミン乳剤	1,000倍-/5回

発蕾期

オオタバコガ ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	2000倍 発生初期/4回 (ハスモンヨトウは2,000~4,000倍)
ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍 開花前まで/1回
白さび病	チルト乳剤25	3,000倍 発病・発生初期/3回